



平成18年12月期 第3四半期財務・業績の概況（連結）

平成18年11月21日

上場会社名 フジコピアン株式会社
 コード番号 7957
 (URL <http://www.fujicopian.com>)

上場取引所 大
 本社所在都道府県 大阪府

代表者 役職名 代表取締役社長 氏名 赤城 貴太郎
 問合せ先責任者 役職名 取締役 管理部担当 氏名 本出 壯太郎

TEL (06) 6471-7071 (代表)

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
 (内容) 法人税等の計上基準に簡便的な方法を採用しております。
- 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
- 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成18年12月期第3四半期財務・業績の概況（平成18年1月1日～平成18年9月30日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況

(単位 百万円：未満切捨)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18年12月期第3四半期	8,803	0.8	158		93		162	
17年12月期第3四半期	8,732	7.5	208		238		191	
(参考) 17年12月期	11,813		160		215		45	

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
18年12月期第3四半期	9	51		
17年12月期第3四半期	11	13	11	9
(参考) 17年12月期	2	65	2	64

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しています。

[経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

当第3四半期のわが国経済は、企業収益が回復基調で推移するなか設備投資が引き続き増加し、また、雇用環境の改善を背景として個人消費も堅調に推移し、全般的に景気は回復基調を維持しました。

一方で、高騰が続いておりました原油価格は、中東情勢の不安定化などにより高止まりしており、景気の先行きには不透明感が漂っております。

このような状況のなか、当グループは各種プリンタに関する市場において主力のサーマル製品であるバーコード用リボンの拡販に努める一方、文具市場向けに高機能かつ価格競争力のある製品の開発および製造、販売に注力いたしました。さらに、新規製品分野におきましてはF I X F I L Mのみならず、機能性フィルムの工業用途への展開など市場ニーズへの対応に努めてまいりました。また、グループ全体で“生産革新”活動の取り組み強化による生産の効率化を図るとともに、コスト競争力を維持するために海外生産を進めた結果、当第3四半期の連結売上高88億3百万円（前年同期比0.8%増）とほぼ横ばいの結果となりました。

しかしながら、エネルギーコストおよび原材料費の上昇などの影響を強く受け、さらに減損損失の計上を行ったことから、第3四半期の連結業績は営業損失1億5千8百万円、経常損失9千3百万円、四半期純損失1億6千2百万円の計上となりました。

(2) 財政状態(連結)の変動状況

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
18年12月期第3四半期	16,210	9,884	59.8	565 66
17年12月期第3四半期	16,650	9,865	59.2	574 59
(参考)17年12月期	16,751	9,893	59.1	577 53

[財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報等]

当第3四半期の財政状態は、前連結会計年度と比較して、総資産は5億4千万円減少し162億1千万円となりました。減少の主な要因は現金及び預金の減少であります。負債合計は2億4千2百万円減少し63億2千5百万円となりました。総資産は8百万円減少し98億8千4百万円となりました。この結果、自己資本比率は59.8%と0.7%増加しました。

3. 18年12月期の連結業績予想(平成18年1月1日~平成18年12月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通 期	11,800	80	80

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 4円67銭

[連結業績予想に関する定性的情報等]

平成18年12月期の業績予想につきましては、販売競争の激化および新製品の立上げ遅延等により、売上高が計画を下回る見込みとなりました。また、原油価格の高騰にともなうエネルギーコストおよび原材料費の上昇に加え、ベトナムでの生産立上げにともなう一時的な費用の増加ならびに岡山工場で発生した火災事故の影響等により、経常利益、当期純利益とも計画を大幅に下回る見込みとなりました。

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報および将来の業績に影響をあたえる不確実な要因にかかる本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

(要約)四半期連結貸借対照表

(単位 千円：未満切捨)

科 目	前第3四半期末 (平成17年9月30日)	当第3四半期末 (平成18年9月30日)	前連結会計年度 (平成17年12月31日)
(資産の部)			
流動資産	9,774,948	8,534,769	9,605,356
固定資産	6,875,886	7,675,752	7,145,818
有形固定資産	5,410,557	5,315,469	5,390,622
無形固定資産	7,169	11,945	6,824
投資その他の資産	1,458,158	2,348,336	1,748,371
資産合計	16,650,835	16,210,521	16,751,174
(負債の部)			
流動負債	3,599,372	3,061,702	3,747,857
固定負債	2,850,661	3,264,041	2,820,028
負債合計	6,450,034	6,325,743	6,567,885
少数株主持分	335,618	-	290,287
(資本の部)			
資本金	4,791,796	-	4,791,796
資本剰余金	2,996,156	-	2,996,156
利益剰余金	1,896,794	-	1,750,581
その他有価証券評価差額金	417,479	-	565,619
為替換算調整勘定	72,300	-	34,668
自己株式	164,743	-	176,485
資本合計	9,865,182	-	9,893,000
負債、少数株主持分及び資本合計	16,650,835	-	16,751,174
(純資産の部)			
株主資本	-	9,130,007	-
評価・換算差額等	-	558,472	-
少数株主持分	-	196,298	-
純資産合計	-	9,884,778	-
負債及び純資産合計	-	16,210,521	-

(要約) 四半期連結損益計算書

(単位 千円：未満切捨)

科 目	前第3四半期 〔平成17年1月1日〕 〔平成17年9月30日〕	当第3四半期 〔平成18年1月1日〕 〔平成18年9月30日〕	前連結会計年度 〔平成17年1月1日〕 〔平成17年12月31日〕
売上高	8,732,606	8,803,081	11,813,213
売上原価	6,519,505	7,018,012	8,981,071
売上総利益	2,213,100	1,785,069	2,832,142
販売費及び一般管理費	2,004,379	1,943,556	2,671,355
営業利益又は 営業損失()	208,721	158,487	160,786
営業外収益	66,522	95,012	101,144
営業外費用	36,492	29,795	46,457
経常利益又は 経常損失()	238,751	93,270	215,472
特別利益	-	41,595	-
特別損失	14,569	119,149	114,119
税金等調整前四半期(当期) 純利益又は税金等調整前 四半期純損失()	224,182	170,824	101,353
法人税、住民税及び事業税	9,402	14,928	19,082
法人税等調整額	2,860	26,717	50,849
少数株主利益又は 少数株主損失()	20,109	3,838	14,173
四半期(当期)純利益 又は四半期純損失()	191,809	162,873	45,595